

No. 1177

日米のかけ橋

401
#10

— 林・池 特派員 —

壮大な建築美を誇り、サンフランシスコの美しい風景に花を添えるゴールデンゲート・ブリッジ。坂の街、霧の街……さまざまな呼び名を持つサンフランシスコの丘に立つ威臨丸入港の記念碑。古都ボストンの近くフェアヘイブンは日米修好通商条約で威臨丸に通訳として乗り込んだジョン万次郎ゆかりの地。

134年前、万次郎は鳥島沖でそうなんしたがアメリカの捕鯨船に助けられ、捕鯨の町フェア・ヘイブンへ渡った。現在モリスさん一家が住んでいるこの家に万次郎は住んでいた。日本人として初めて西洋の学校教育を受けた学校は今も残っている。万次郎を助けたホイットフィールド船長の墓。この五月万次郎の四代目にあたる日本の中浜博ご夫妻がこの地を訪れた。これに対し、船長さんの四代目ホイット・フィールドさんが日本を訪れ、東京雑司ヶ谷のジョン万次郎の墓に献花。日米友好の精神は130年たった今日も続いている。

限りなく広がるケンタッキーの牧場。ここで働く日本の若者たち。吉田晴哉君（25才）もそのうちの一人である。吉田君は大学を卒業した後、都内のある銀行に2年間サラリーマンとして勤めた。しかし生涯サラリーマンとして過ごすつもりはなかった。新妻の安恵さんも吉田君の考えに賛成してくれた。馬の世話で忙しい毎日を送る吉田君。広い牧場に夢は大きくふくらむ。

サンフランシスコで発行される日本語版新聞。サンフランシスコには多くの日本人が生活している。それに伴い、日本の文化もあらゆる方面に浸透している。

ソイ・ソースと呼ばれ、アメリカ人に人気のある日本の醤油。醤油は今、万能調味料として国境を越え、定着している。日本の味から世界の味へ、昭和44年ニューヨークでは醤油を使った料理のコンテストも行なわれた。いろいろな型で押し進められる日本とアメリカ両国の親善。その精神はこれからも末永く受け継がれていくことだろう。

7/29 401